

消費者ネットちば News

No. 51 2017年7月24日



消費者フォーラム in 千葉 「学んで つながり 行動しよう」

～安心して暮らせる消費者社会～

千葉市文化センター アートホール平成29年 5月25日(水) 12時30分～15時



消費者月間の5月、消費者フォーラム in 千葉が開催されました。今年のパネル展示は「南房総市リコールキャンペーン」の報告でした。実際に使ったリコール製品のリストが好評で、「是非、地域の消費生活展で使いたい。」と言われ、消費者団体に差し上げた一幕もあり、好評でした。合わせて立ち上がったばかりの「特定非営利活動法人 消費者市民社会サポートちば」の案内も置き、適格消費者団体の周知を行いました。

参加団体の展示

我孫子市消費者の会



習志野市消費生活研究会



松戸市消費者の会



千葉県消費者団体連絡協議会



主催者挨拶

- ・千葉県環境生活部生活安全・有害鳥獣担当部長 玉田浩一 氏
- ・「消費者フォーラム i n 千葉」実行委員長 小田川和恵 氏



千葉県は4月に「消費者教育推進計画」を公表しました。情報の提供や消費者教育と合わせて、地域ぐるみの関りや見守り活動などのネットワークづくりが大切です。実行委員会で議論を重ね、今年のテーマが決まりました。



消費者庁消費者支援功労者表彰

- ・消費者庁あいさつ 消費者庁審議官 東出浩一 氏
- ・ベスト消費者サポーター章 武田佳代子氏 氏

第一部 基調報告

- ・市民参加で悪質商法を撃退する ～誰もが安心して暮らせるまちづくり～
三重県伊賀市社会福祉協議会業務執行理事 平井俊圭 氏



消費生活センターがなかった平成16年に「伊賀相談ネットワーク」を立ち上げてから、翌年には「消費者トラブル対策検討委員会」を設立、現在は、市の消費生活センターと連携しながら、消費者啓発、消費者教育へと、地域の力で様々な問題解決に取り組まれていらっしゃる平井氏の軽快なお話しぶりは会場をひきつけました。最後に、認知症の高齢の婦人が亡くなられた後に見つかった手記を読み上げられ、当事者の苦しみや悲しみがしっかりと参加者に伝えられた講演でした。

第二部 千葉県内における取組報告

- ・富里市における取組 ～地域ぐるみでの消費者被害防止～



富里市市民経済環境部商工観光課 長谷川課長
(富里市消費者行政推進連絡協議会)

平成23年に富里市と消費者行政充実ネットちばと共催で行ったシンポジウムの実行委員会を母体として誕生した「富里市消費者行政推進連絡協議会」について、報告がありました。富里市の協議会は全国でもまだまだ少ない「消費者安全確保地域協議会」として、注目されています。

第三部 平成28年度県民提案事業の事例発表

- ・「食の“もったいない”を考える講演とワークショップ」

生活協同組合コープみらい 千葉県本部参加とネットワーク推進室企画・広報課長 鈴木 典子氏

コープ未来の食育「たべる、たいせつ」の取り組みの展開と県民提案事業で行ったの講演、ワークショップの報告がありました。またフードバンク活動の取り組みの中で行われている「家庭であ、余っている食材をおいしい料理に変身させるサルベージクッキング」の紹介もありました。

- ・「高齢者向けリコール製品回収事業」

消費者行政充実ネットちば 代表幹事 前野春枝 幹事 佐藤静江

南房総市で行ったリコールキャンペーンの状況についての報告を、石川先生に作成していただいたパワーポイントを使って報告しました。リコール製品を見つけた数はわずかでしたが、実際に顔を突き合わせてお話しすることと、地域の皆さんと取り組むことで製品安全への理解と意識を高めることになったことを報告しました。